

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム夢見ヶ崎	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人和楽会 ・代表者名 理事長 清水 勤 ・住所 川崎市高津区千年141-2	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 64人) 在籍者数 63人(平成24年3月31日現在:入院等不在者を含む)	
	介護度	要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 その他 合計
	利用者数	3 6 14 18 22 0 63
	②通所介護事業(通所定員 40人/日) 年間延べ利用者数 7,054人:定員に対する稼働率 68.6%	
		4月 5月 6月 7月 8月 9月
	延べ利用者数	532 602 604 613 641 618
		10月 11月 12月 1月 2月 3月
	延べ利用者数	630 623 550 544 520 577
	③短期入所事業(通所定員 16人) 年間延べ利用者数 4,138人:定員に対する稼働率 70.6%	
		4月 5月 6月 7月 8月 9月
延べ利用者数	307 339 332 340 356 334	
	10月 11月 12月 1月 2月 3月	
延べ利用者数	323 362 368 351 355 371	
④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成24年3月分)		
介護度	要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 その他 合計	
管理者数	23 10 18 8 6 0 65	
⑤地域包括支援センター事業 相談件数及び訪問件数		
相談者数 訪問者数(左の再掲)		
実相談者数	延べ相談回数 実訪問者数 延べ訪問回数	
401	1,368 355 1,151	
相談内容		
介護保険サービス	福祉サービス 権利擁護 その他相談	
959	178 46 201	
プラン作成件数		
介護予防プラン	市単サービスプラン	
総件数 うち委託分	総件数	
332 70	3	
収支実績	①特別養護老人ホーム事業(短期入所含む)	
	(収入)	
	介護料収入	262,620,688
	利用者等利用料収入	52,225,929
	その他の事業収入	0
	合計	314,846,617
	(支出)	
	人件費	205,757,676
	事務費	55,682,365
	事業費	62,954,291
合計	324,394,332	
(収支差額)		
-9,547,715		
②通所介護事業		
(収入)		
介護料収入	66,024,606	
利用者等利用料収入	5,493,905	
その他の事業収入	0	
合計	71,518,511	
(支出)		
人件費	43,355,878	
事務費	7,863,222	
事業費	13,410,685	
合計	64,629,785	
(収支差額)		
6,888,726		
③短期入所事業		
(収入)		
介護料収入		
利用者等利用料収入		
その他の事業収入		
合計	0	
(支出)		
人件費		
事務費		
事業費		
合計	0	
(収支差額)		
0		

	④居宅介護支援事業 (収入)	介護料収入	11,136,461	(支出)	人件費	9,341,501
		利用者等利用料収入	0		事務費	949,110
		その他の事業収入	0		事業費	1,178,267
		合計	11,136,461		合計	11,468,878
				(収支差額)		-332,417
	①～④合計(⑤地域包括支援センター事業は別途委託のためここでは計上せず) (収入)	介護料収入	339,781,755	(支出)	人件費	258,455,055
		利用者等利用料収入	57,719,834		事務費	64,494,697
		その他の事業収入	0		事業費	77,543,243
		合計	397,501,589		合計	400,492,995
				(収支差額)		-2,991,406
	⑤地域包括支援センター事業 (収入)	介護料収入	6,855,480	(支出)	人件費	20,902,570
		その他の事業収入	0		事務費	2,002,877
		経常経費補助金収入	22,513,744		事業費	725,047
		合計	29,369,224		合計	23,630,494
				(収支差額)		5,738,730
サービス向上の取組	<p>介護支援専門員、居室担当、看護師、管理栄養士がそれぞれ担当ごとの計画を作成し、会議の場で情報共有・協議を行う等により、現状に合わせたケアプラン策定に努めた。また自己点検を月毎に実施するとともに評価を短期・長期目標の期間末ごとに実施した。</p> <p>食事について、食事委員会や栄養ケアマネジメント等で利用者に合う食事形態・自助具を検討し、個別の対応を心掛けるとともに、リハビリ体操や歌で食事をスムーズに取れるよう努めた。また、職員研修等で意義・目的の共有化に努めた。</p> <p>サービス評価等について、かながわ福祉サービス振興会による訪問調査・情報公開を実施。また、満足度調査、年2回の家族会でアンケートを実施。また、機関誌の発行・ホームページで情報の開示に努めた。</p> <p>安全管理について、身体拘束委員会設置により身体拘束廃止を推進しており転倒事故のリスクがあるため事故対策委員会で事故分析・対策等を月1回協議。また発生時の対応の留意点をまとめ職員へ徹底。また事故のみならずヒヤリハットも報告を徹底し、独自基準で報告を義務付けている。</p> <p>地域交流について、ボランティア受け入れのほか見学や交流、職業体験の場を提供し、高齢者の介護や生活に関心を持ち理解してもらう機会としている。</p>					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	×2	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	×2	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
	(評価の理由) 質の高いサービスの提供について、食事形態や自助具の検討等による自力摂取の工夫、ターミナルケア推進の実施、身体拘束0の取組等が評価できる。また施設内新聞や法人ホームページのブログで施設の様子を紹介したり、地域交流として地元保育園、小・中学校等の交流や職業体験の受入、お祭りへの地元住民の参加等を行った点が評価できる。 利用者の健康管理については、食前の嚥下訓練として発声・歌を実施したことや、感染症対策としてマニュアルの見直し等のほか、冬期のビニールエプロン着用、来所者への周知、手指消毒液・マスク設置等を行い対策に努めたことが評価できる。				
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	×1	3	3
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	×1	4	4
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	×1	4	4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
	(評価の理由) 年度途中からの地域包括支援センター事業所のフロア分離に伴う変更のほかは、概ね計画に基づいた支出が行われた。 稼働率を上げるよう営業努力を行い、キャンセルが出た場合、すぐ埋めるようケアマネジャーに働きかけた結果、前年度に比べ通所介護・短期入所で利用者が増加し、収入も増加した点が評価できる。 預かり金を帳簿をつけて管理し、定期的に家族へ報告して適切な金銭管理に努めたほか、事業収支に関し、税理士のチェックを毎月受け、適正に管理した点が評価できる。				

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	×2	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	×2	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	×2	4	8
		利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか			
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
(評価の理由) 短期入所の積極的な営業活動及び通所介護の重度者の受入体制作りなどにより、前年度に比べ利用者が増加した点が評価できる。 利用者の意見・要望への対応について、年1度の利用者満足度調査のほか、年2回の家族会でアンケートを実施し、要望等は職員の連絡ノートで周知を図ったこと、苦情等について要綱に基づきフローチャート作成、経過の記録徹底等を行ったことなどが評価できる。					
組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	×1	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	×2	4	8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	×1	5	5
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
	コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取組がなされたか。	×1	3	3
法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか					
(評価の理由) 担当者のスキルアップについて、内部研修・外部研修への参加を積極的に行ったほか、伝達研修の実施、施設内研修での発表等により職員への浸透を図った点が評価できる。 安全・安心の取組について、夜間消防訓練を毎月実施したこと、事故等について独自基準を定めヒヤリハットを含め報告を徹底し、毎月の委員会で分析と対策を協議したこと等が評価できる。 個人情報の管理について、基本規則の制定・基本方針の告知、管理規則・取扱規則を策定。また委託業者等にも誓約書提出を義務付け、またPCは職員コード・パスワードを入力しないと起動しないよう設定し、適切な管理に努めた点が評価できる。ただし、一部加算の取下げがあった点が残念である。					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	×2	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか				
(評価の理由) 施設・設備の保守点検・整備、清掃、警備、植栽の管理については特に問題なく実施された。備品や消耗品の管理は適切に行われた。					

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

自力摂取の工夫、ターミナルケアの推進、身体拘束0の実施等に取り組んだこと、また感染症対策として、マニュアルの見直しや職員研修等のほか、感染が広まる時期にビニールエプロン着用等の対策を行った点が評価できる。

短期入所及び通所介護の利用促進を図り、収入増加に結び付いた点が評価できる。

各種の常設委員会の開催、長期・短期目標の設定と期間末の評価を行ったこと、利用者の意見・要望への対応として利用者満足度調査のほか家族会でのアンケート実施等により利用者ニーズの把握に努めたこと、また苦情への記録・解決の体制を整えて対応した点が評価できる。

担当者のスキルアップについて、資格取得の奨励や研修への積極的参加のほか、伝達研修や発表等により浸透を図ったこと、事故等について、独自基準を設け報告・記録を徹底し、委員会で分析と対策を協議したこと等が評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、利用者ニーズの把握に努め、質の高いサービス提供のための取組を行うこと。

前年度と比べ向上した短期入所及び通所介護事業の稼働率を維持するとともに、更なる利用促進に努めること。

加算要件を満たさなくなった場合などは、速やかに届出を行うこと。